

令和元年9月30日

先般の報道について

海南医療センター

平素より当センターの運営にご協力を賜り、御礼申し上げます。

既に新聞等で報道されておりますが、厚生労働省から各都道府県に対し、公立・公的病院の再編統合の検証要請が出され、全国で当センターを含む424病院が検証の対象とされています。

これは、現在、全国各地で行われている地域医療構想の議論を促進するために示されたものですが、都市部や地方に関係なく、全国一律の基準で機械的に分析された結果のみを公表したもので、地域性や実情等が考慮されたものではなく、具体的な案も示されていません。

当センターをはじめ多くの中小公立・公的病院は地域と密接に関わって医療を提供しており、このたびの公表は当該地域住民の不安や誤解を助長しかねず、大変遺憾です。

現在、当センターは急性期病院の役割を担っており、海南市消防の年間救急搬送件数の約23%を受け入れています。これは、県立医科大学付属病院の約28%に次ぐ割合で、周辺の病院やクリニックとも連携し、14の診療科で医療を提供しています。

当センターとしては、こうした現状も踏まえ、国の公表に伴って現行の機能を見直すことは、地域の住民福祉や医療体制に著しい影響を与えるものと考えます。

医師数や診療科など大規模病院と比較して厳しい状況ではありますが、当センターは現在の機能を変えることなく、周辺の医療機関と連携・協力し地域での役割を果たすべく、引き続き努力してまいります。

また、これらの方針は設置者である海南市とも共有していますので、今後、和歌山県を通じて国に対し、当センター及び当地域における医療体制を維持させるべく、その意思を明確に伝えてまいります。

今後も当センター運営へのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。